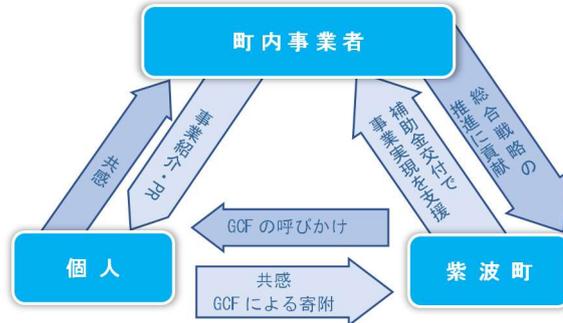


紫波町クラウドファンディング活用支援事業補助金について

1 紫波町クラウドファンディング活用支援事業補助金

第2期紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図るため、総合戦略連携プロジェクトに関する事業を実施しようとする民間事業者から提案を募集し、「ガバメントクラウドファンディング」を原資とする補助金を交付するものです。

【イメージ】



※ガバメントクラウドファンディングとは…クラウドファンディングの中でも、「ふるさとチョイス」がふるさと納税制度を活用して行っているのがガバメントクラウドファンディングです。自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みです。

2 実施事業の内容(2件)

①事業名	紫波町発 日本の未来を切り拓く人材育成事業 「SHIWALAB -create a new wave-
②事業者名	SOKOLIFETECHNOLOGY 株式会社 代表取締役 菅原 壮弘
③事業目的	将来的に人口減少や地域コミュニティ機能の低下、町財政の悪化等が懸念されることから、新たな財源の創出、地方創生を率先して行う人材の育成のため、金融教育プログラム、町民や周辺地域の人々とのつながりの場の提供、魅力的な人材作り、そして周辺地域から紫波町に住みたいと思われるような仕組みづくりを行う。
④事業内容	【金融教育、企業家育成イベント】 ・東大生や金融のプロフェッショナルによる金融教育プログラム ・Web3、暗号資産、DAOに関する講座 【アスリートによるスポーツ人材創出イベント】 ・オリンピックと家族を含め交流することで、アスリートマインドを育む
⑤実施期間	令和5年9月から令和6年3月
⑥交付額	16,000 円
⑦実施内容	・金融プログラム(Web) (①令和5年11月25日、②令和5年12月16日) ・Web3 教育プログラム(Web) (①令和6年1月20日、②令和6年2月17日、③令和6年3月16日)
⑧今後の方針	・イベントの実施頻度について、月2回の開催を計画していたが、実績は月1回の開催に留まってしまった。また、イベントがすべて現地開催ではなくオンラインでの開催となり、本事業の認知度が上がらなかった。 ・次年度以降は、町内の学校等と連携し、金融授業等のリアルイベントの開催を目指す。

①事業名	スポーツを通じた地域交流促進のためのクラブハウス整備事業
②事業者名	株式会社いわてアスリートクラブ 代表取締役社長 秋田 豊
③事業目的	紫波運動公園の現陸上競技場観客スタンドの設置箇所にプロ仕様のトレーニングルームをはじめ、多目的ホール、トイレ、ロッカー等設備を有するクラブハウスを整備する。本クラブハウスは、町民の健康に携わる最大の拠点として利用するほか、グーージャ盛岡のクラブハウスとして利用することで、チームの運営にかかわる消費、サポーターの往来に関わる町内での消費活動や、地域コミュニティの形成、地域連帯感の向上、地域への誇りやアイデンティティの醸成が期待される。
④事業内容	町民の健康増進を目的としたクラブハウス整備 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 クラブハウス設計 ・令和6年度 クラブハウス建設、グラウンド改修
⑤実施期間	令和5年7月から令和6年3月
⑥交付額	0円
⑦実施内容	事業中止 【理由】 同様の事業が令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金の採択を受けたことから、本事業を中止するもの。
⑧今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の対象として受領した寄附金については、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し町が整備するスポーツ交流拠点の整備に充当する。 ・寄附額が整備費を超過した場合は、令和6年度以降にグラウンド改修を実施するために活用する。